

VOL.512 小さく光る 月刊神戸っ子

2004年2月1日発行 毎月1回1日発行 第43巻 第2号
通巻512号 昭和40年1月20日 第三種郵便物許可

KOBECCO 2004 2



HISATSUKA

Blessing

真い真珠が生まれるためには、山々が大きな影響を与えていることはあまり知られていません。雨が降り、山の麓裏山から出るミネラルが川から海に運ばれます。このミネラルこそが真珠に不可欠で、このサイクルがないと真珠は全く育ちません。この自然の恵みをダイヤモンドの川と、海で採れた真珠で表現しました。

真珠: 田舎真珠、ダイヤ: エドワード・ベイコック

2004

Spring

2004

KINOSHITA PEARL
Spring & Summer Collection

今回のテーマは「水」。生命の源泉である水、そして水の中から生まれてくる真珠は、水に命を与えられた象徴的な宝石です。生命が活動が始める季節に合わせて、生命の息吹きを感じるジュエリーの数々をお楽しみください。

Waterfall

滝には光りの加減により、明るい部分と暗い部分がございます。その違いをホワイトダイヤモンドブラックダイヤモンドを組み合わせることで、表現しました。

Water ripples

雨が降り出すと、水面に表れては消え、また表れては消える水紋。この繰り返しを動きのある構造で表現することにより、さらに際立たせてみました。

真珠: エドワード・ベイコック、ダイヤ: エドワード・ベイコック

Lara Lara

Water on the rope

ダイヤ: エドワード・ベイコック、真珠: エドワード・ベイコック、パール: エドワード・ベイコック、パール: エドワード・ベイコック

Lara Lara

2004 木下真珠 春の展示会

新神戸オリエンタルホテル 9F 桐の間

2004年 2月27日 金曜日 11:00~21:00

2月28日 土曜日 10:00~18:00

パールサロン神戸 神戸市中央区山本通1-7-7 (北野坂)

TEL.078-221-3170

FAX.078-221-9427

PEARL COMMUNICATION



kinoshita
pearl



こころ淡い春色に

JEWELRY **タジマ**

神戸市元町2丁目TEL.078 (331)5761

Dear Princess
ショッピングリスト
(京阪神地区)

三宮店
☎078-391-3918

元町店
☎078-322-0761

さんちかタウン店
☎078-331-1331

大丸梅田店
☎06-6343-4140

阪急三番街店
☎06-6372-1611

エスト-1店
☎06-6372-3357

心斎橋OPA店
☎06-6282-8036

なんばCITY店
☎06-6644-2899

ラ・セレナ店
☎06-6625-2453

四条河原町阪急店
☎075-211-6222

 ISM GROUP

神戸市中央区布引町1-1-10
☎(078) 222-3641 (代)
<http://www.ismgroup.co.jp>

撮影/米田英男
モデル/大瀬晶子
(神戸松蔭女子学院大学2年生)
撮影場所/神戸ハーバーランド モザイク

トップス ¥7,900
パンツ ¥11,000

Dear Princess

2004 灘の酒蔵探訪

歴史も、呑もう。

灘ではこの時期
新酒がつきつきと

産声をあげる

新酒のかおりを味わいながら

酒蔵の歴史にも想いをよせて

こんな休日、いいじゃないか

灘の酒蔵 **スタンプラリー**

2/1⑩～5/9⑩

酒蔵開放

沢の鶴本社工場にて 2/14⑩、2/28⑩ 両日とも10:30～、13:30～の2回

神戸酒心館にて 3月中旬までの毎日14:00～

「灘の酒蔵巡り」バス運行

運賃 大人・小児とも1人100円です。

2/1～3/28の土・日・祝日

JR六甲線 阪神大石 各酒蔵資料館など JR六甲線
(運賃運転はいたしません)



スタンプ
ポイント

マークのスタンプポイントでは観覧ができます。

泉勇之介商店(灘泉)

Izumi Yunosuke Shoten(Nado Izumi)

※ 今ではなかなかみられなくなった純木造の酒蔵です。見学は10名位のグループを予約してください。

TEL.078-851-2722

阪神「石堀川駅」を南へ徒歩約10分
● 開館時間：9時～17時の前橋時(要予約)
● 休館日：日曜日、祝日
● 入館料：無料

浜鶴鶴吟醸工房

Hamakokuryu-Ginjo Brewery and Shop

※ 近代的名酒づくりの設備とまの工程がわかる大風呂に見学できます。広々とした開放スペースも好評です。

TEL.078-411-0492

阪神「魚崎駅」を南へ徒歩約7分
六甲ライナー「南魚崎駅」を北へ徒歩約7分
● 開館時間：10時～17時
● 休館日：月曜日(祝日の場合翌日)
● 入館料：無料

神戸酒心館

Kobe Shushin-Kan Brewery

※ 醸造様(見学要予約)、飲食店、販売店、イベントホールの4棟からなる神戸地酒蔵。イベントも好評です。

TEL.078-841-1121

阪神「石堀川駅」を南へ徒歩約8分
● 開館時間：10時～18時
(飲食店は11時～14時30分、17時～22時)
● 休館日：無休
● 入館料：無料

櫻正宗記念館「櫻宴」

Sakuramasomune "Sakuran"

※ 遊びながら楽しめるお洒落な空間を創出しています。レストラン、展示ギャラリー、ショップやカフェなども充実した内容です。

TEL.078-436-3030

阪神「魚崎駅」を南へ徒歩約5分
六甲ライナー「南魚崎駅」を北へ徒歩約5分
● 開館時間：10時～19時(物販は19時、喫茶は18時まで、レストランは11時30分～18時、17時～22時)
● 休館日：火曜日
● 入館料：無料

こうべ甲南武庫の郷

Kobe Konan Muko-no-sato

※ 泉酒造の老舗、甲南酒の本店と資料館。日本酒蔵を鑑いた多目的空間もあります。

TEL.078-842-2508

阪神「新在家駅」を南へ徒歩約3分
● 開館時間：10時～17時(資料館)
9時～19時(物販店)
● 休館日：無休
● 入館料：無料

菊正宗酒造記念館

Kikumamasome Sake Museum

※ 酒造用具や工場の空想を創出した「酒造展示室」が見どころです。国指定重要有形民俗文化財の酒造用具も収蔵しています。

TEL.078-854-1029

阪神「魚崎駅」を南へ徒歩約7分
六甲ライナー「南魚崎駅」を北へ徒歩約2分
● 開館時間：10時～16時
● 休館日：火曜日(祝日の場合翌日)
● 入館料：無料

沢の鶴資料館

Sawanotsuru Museum

※ 黒箱定重要有形民俗文化財の「大石蔵」は免震構造をとり入れて大震災から取り残した。文化財に指定された道具や展示設備がゾクゾクと見えます。

TEL.078-882-7788

阪神「大石駅」を南へ徒歩約10分
● 開館時間：10時～16時
● 休館日：水曜日
● 入館料：無料

白鶴酒造資料館

The Hakutsuru Sake Brewery Museum

※ 昔の酒づくりの工程を実際に使われている酒蔵で、醸造の貴重な資料や設備が再現。見学も無料です。

TEL.078-822-8907

阪神「住吉駅」を南へ徒歩約5分
● 開館時間：9時30分～16時30分(入館16時まで)
● 休館日：月曜日(祝日の場合翌日)
● 入館料：無料

灘浜ガーデンバーデン

Nadahama Garden Baden

※ バーデン(水風呂・湯治)・露天プール浴室・レストランを備えた健康温泉施設で、バーデンには、バスやジャグジー、歩行池のための露天プールなどを設けています。

TEL.078-862-2011

阪神「新在家駅」を南へ徒歩30分
● 開館時間：10時～21時30分(受付20時30分まで)
● 休館日：第3水曜日(祝日の場合翌日)
● 利用料金：全館利用 平日1200円、土日祝日1400円(大人)

有料施設は、スタンプを押す際に入場料が必要となる場合があります。休館日等をお確かめのうえ、ご参加ください。

お問い合わせ：神戸市生活文化観光局観光交流課 078-322-5339

Kenzo OKADA : A Retrospective

特別展 生誕100年記念・没後20年

岡田謙三展

[展示室2・3]

小磯良平の東京美術学校時代の同級生仲間には、画家として目覚しい活躍を果たした人が少なくありません。日本、アメリカをはじめ国際的に高い評価を受けている岡田謙三(1902~82)もその一人です。

横浜に生まれた岡田謙三は、1922(大正11)年、東京美術学校西洋画科に入学します。同級生には小磯の他、猪熊弦一郎、牛島憲之、萩須高德、中西利雄、山口長男ら、そうそうたる顔ぶれが揃っていました。「ユーゲニズム」と名付けられたその芸術世界は、アメリカ画壇のみならず数々の国際展でも高く評価されました。

岡田謙三の生誕100年と没後20年を機に開催される本展は、関西では初の大掛かりな回顧展となり、日本初公開となるアメリカの美術館の所蔵品を加えた、約110点の作品と資料を一堂に紹介するものです。

2004年2月7日(土)~4月11日(日)

3月9日以降一部展示替

同時公開/収蔵作品展Ⅲ(展示室1)

開館時間 午前10時から午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 会期中毎週月曜日

入館料【当日(前売)】

大人700円(600円)、高大生500円(400円)、小中生300円(200円)

シルバー350円(65歳以上で神戸市すこやか手帳持参の方)

【団体(30名以上)】

大人550円、高大生350円、小中生150円

主催 神戸市立小磯記念美術館・神戸新聞社

後援 NHK神戸放送局・サンテレビジョン・
AM神戸・(財)神戸市民文化振興財団

協力 日本航空

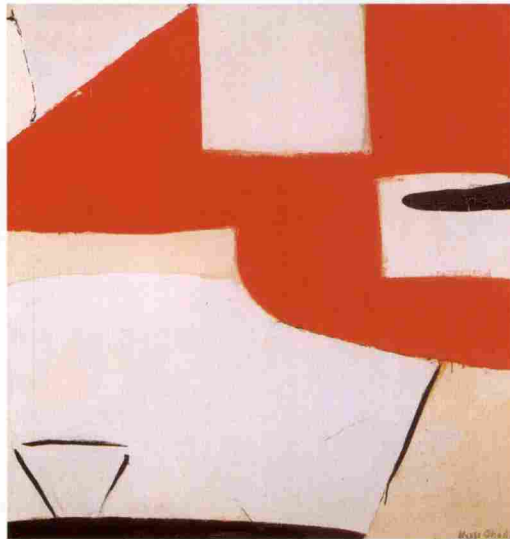
特別協力 社団法人 北里研究所

神戸市立小磯記念美術館

〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中5-7

TEL.078-857-5880

<http://www.city.kobe.jp/cityoffice/57/koiso-museum> 「元禄」1957年 東京国立近代美術館



会期中のイベント

- 講演会 3月14日(日)午後2時~3時30分 当館2階給画学習室にて(定員80名)
「岡田謙三と岡田謙三記念館」
講師/加藤 隆子氏(秋田市立千秋美術館・岡田謙三記念館 主席主査・学芸員)
- スライド解説会 会期中毎週日曜日(3/14を除く)午後2時より(約30分)
当館学芸員による解説
- アトリエ解説 開催日の午前11時、午後2時より(約20分)
インフォメーションスタッフによる案内
※他イベント開催時変更あり
- ロビーコンサート 2月14日(土)、3月27日(土) いずれも午後2時より
- 子どものための美術講座「美術館大作戦5 岡田謙三 ユーゲニズムに挑戦!」
2月11日(祝)、2月28日(土)、3月6日(土)、3月13日(土)
いずれも午後1時30分~4時頃
小学1年~中学3年生対象(各回定員20名)
2月8日までに往復はがきにて要申込(詳しくは当館にお問合せください)

神戸市立小磯記念美術館

神戸市東灘区向洋町中5丁目7 TEL.078-857-5880
http://www.city.kobe.jp/cityoffice/57/koiso_museum/

★2004神戸南京町春節祭 你好！



① 大丸神戸店前を乱舞する龍舞
② 実行委員長を務める瀧川博司さん(横浜庫トヨタ自動車代表取締役社長)
③ 曹英生さん(南京町商店街振興組合理事長)
④ 開催に先立ち、南京町広場で神事がとり行われた
⑤ 右から瀧川さん、藤原兵庫県民局長、上根さん、矢田市長
⑥ 中国の歴史上の人物に扮する中国史人遊行

一月二十二日、この日は零下2・8度と、神戸で今シーズン最低気温を記録した。この大寒の中、南京町広場では、2004神戸南京町春節祭のオープニングセレモニーが開催された。時折寒気が吹きすさぶ中、派手な爆竹が鳴り響き、獅子舞の華麗な演技とつめかけた観衆の熱気で、この寒さを忘れさせた。

式典には、矢田立郎神戸市長、藤原正治兵庫県民局長、瀧川博司実行委員長、上根保元町東地域協議会長らの姿も。

南京町商店街振興組合の曹英生理事長は、「今年には春節祭の質を上げたという思いで取り組んできた。京劇衣装だけでなく、メイクはプロにお願いしたほど。」

この後には、平成14年に結成されたという神戸南京町獅誠館のメンバーによる獅子舞が披露された。

また、中国歴史上の人物に扮した中国史人遊行には、地元の関係者や公募で選ばれた人々が参加。孔明や三蔵法師など、普段では体験できない衣装に身を包んだ。

人から人へ…献血は尊い生命の循環です。

県内でご協力いただいた血液は、全てここで検査され、輸血用血液として患者さんの元へ届けられます。



234,611人。平成14年度、兵庫県内で献血にご協力をいただいた延べ人数です。

全県民の約4.2%にあたる方々が県内の輸血医療を支えているということになります。

現在、輸血用血液は全て国内の献血によってまかなわれていますが、血液を原料とした「血漿分画製剤」については、その半分以上を輸入に頼っています。

皆さまのさらなる献血へのご理解と、ご協力をお願いいたします。



採血した血液を成分に分け、医療に必要な各種の血液製剤を製造

現在の輸血医療は、必要な成分のみを輸血する成分輸血が主流となっています。

そのため、製剤課では赤血球、血漿、血小板等、使用目的ごとに血液を分離する作業を行っています。



救命救急の鉄則は、迅速な判断と医療対応にかかっているといっても過言ではありません。血液センターにおける血液供給業務もその一端を担っています。

当施設では、医療機関から要請があった際、血液を速やかに搬送できるための備蓄をしています。

平成7年、阪神・淡路大震災の際、採血業務が完全に不能になってしまった状況の中、献血運搬車で巡回訪問し血液を届けることができたのも備蓄血液があったからこそといえます。

崩壊してしまった街の中で生命を支える「血液」を守ってきた経験は、大きな財産となって現在の業務に生かされています。



赤十字関連施設の集積地

兵庫県赤十字血液センター

日本赤十字社兵庫県支部との合同庁舎として、平成15年7月にHAT神戸に新築移転されました。一角には、神戸赤十字病院、兵庫県災害医療センターが併設。災害発生時には各施設の緊密な連携により、的確な救援活動が迅速かつ効果的に行える体制が整いました。



献血場所のご案内

HAT神戸内の血液センターでは献血の受付を行っていません。下記の施設でご協力をお願いします。



三宮センタープラザ西館3階に開設されているこの施設は、大きな窓から太陽の光一杯の明るい献血ルームです。誰もが献血に参加しやすい環境を整える一方で、より安全性の高い血液を確保するため、問診の強化に努めています。

三宮センタープラザ献血ルーム

〒650-0021 神戸市中央区三宮町2-11-1 センタープラザ西館3F

☎0120-150-072

携帯・PHSからもご利用になれます。

(受付時間)

全血献血 10:00～12:30
13:30～17:30
成分献血 10:00～12:30
13:30～17:00

(休業日) 年末年始



兵庫県赤十字血液センター

神戸市中央区臨浜海岸通1-4-5 ☎078-222-5011 <http://www.hyogo.bc.jrc.or.jp/>

検査課



安全性の高い血液供給をめざして 高度な検査体制を確保

検査課では、血液型検査や感染症予防のための抗原・抗体検査、献血後にお知らせする生化学検査などを行います。輸血用血液には製剤ごとに有効期間があるため、正確かつ、迅速な検査が求められます。

明石運転免許試験場献血ルーム ☎0120-078-192

〒673-0857 明石市北朝霧丘2-13-7 (明石運転免許試験場向側) 携帯・PHSからもご利用になれます。



(受付時間) 全血献血 9:00～12:30
13:30～16:00
成分献血 9:00～12:30
13:30～16:00

(休業日) 土曜日、第2・4日曜日
祝日、年末年始

塚口さんさんタウン献血ルーム ☎0120-429-141

〒661-0012 尼崎市南塚口町2-1-2-3-12 さんさんタウン2番館3F 携帯・PHSからもご利用になれます。



(受付時間) 全血献血 10:00～13:00
14:00～17:30
成分献血 10:00～16:50

(休業日) 水曜日、第2・4日曜日
年末年始

姫路みゆき通献血ルーム ☎0120-160-489

〒670-0927 姫路市駅前町259 (ぼうしやビル3階) 携帯・PHSからもご利用になれます。



(受付時間) 全血献血 10:00～12:00
13:00～17:00
成分献血 10:00～16:30

(休業日) 火曜日、第1・3日曜日
年末年始

※エイズ検査を目的とした献血はしないでください。

1980年代前半に、輸入の血液凝固因子製剤によって血友病患者さんの多くがHIVに感染した問題を踏まえ、国は血漿分画製剤の安全性確保と倫理的な見地から、全ての血液製剤を国内の献血によってまかなう方向性を示しています。

今なお人工的に造ることができない血液。

血液がなければ命を繋ぐことができない方々が存在し、それを支えるのは「人」でしかないとうこうことは今も昔も変わりはありません。

献血はたくさんの命を支えています。

供給課



24時間・365日、いつでも合理的、 効率的な供給体制を確保

分離・調整をされた血液は、供給課でそれぞれの製剤にもっとも適した条件で保管された後、各医療機関へ届けられます。また、輸血用血液の種類別・血液型別の過不足調整、Rh(-)の血液型やまれな血液型への対応などは、県内だけではなく全国規模で行っています。

朝、からだの内側から、
メイクアップする。



カスピ海ヨーグルトと
大豆イソフラボンから生まれた新・飲料。

毎朝の食卓に、「カスピア」。美しさは、からだの中から生まれます。



内容量 125ml
標準小売価格 100円(税別)

 0120-078126

受付時間/9:00~17:00(土・日・祝を除く)

<http://www.fujicco.co.jp/>



フジッコ株式会社

〒650-8558 神戸市中央区港島中町6丁目13番地4

SECOND COVER

これは神戸を愛する人々の手帖です
あなたのくらしに楽しい夢をおくる
神戸を訪れる人に楽しい道しるべ
これは神戸っ子の心の手帖です。



KOBECCO 2004

なみかわ ひさみ

並河寿美

〈声楽家〉

—華麗に響く

ドラマティック・ソプラノ—

運命にもてあそばされ、壮絶な最期を遂げる美しく情熱的な歌姫トスカ。ザ・カレッジ・オペラハウス公演「トスカ」では、アリア（歌に生き、恋に生き）を圧倒的な歌唱力で聴かせ、オペラの醍醐味を味わい尽くす贅沢な時間を観客に与え、高い評価をうけた。

大阪音楽大学音楽学部卒業後、専攻科・大学院オペラ研究室を修了。門田泰子、田原祥一郎の両氏に師事する。こうべ市民音楽祭大賞、全日本学生音楽コンクール大阪大会第1位など輝かしい受賞は数えきれない。現在は、兵庫県立西宮高等学校音楽科非常勤講師、大阪シンフォニカ合唱団主任ボイストレーナーを務め、二期会の会員でもある。

もともとバレエの素養があり、女優的な

豊かな表現力と、ダイナミックに歌い上げるドラマティックな舞台には定評があった。イタリアで受けたレッスンで、オペラのヒロインを演じるための人生の幅も広がってきた。

自らの楽器である声には人一倍気を使い、レッスンは体調と相談しながら、のらない時は無理せず、のっている時には何時間でも練習することもある。

昨年の「仮面舞踏会」の舞台では、佐藤しのぶのアンダーを立派に務め、また実力つけた。この春、世界初演となる新作オペラ「J・R・パタフライ」（音楽・三枝成彰／台本・島田雅彦）への出演で聴衆はより深い感動と新しい発見に出会えることだろう。

〈山本〉

KOBECCO 2004

中野順哉

〈作家〉

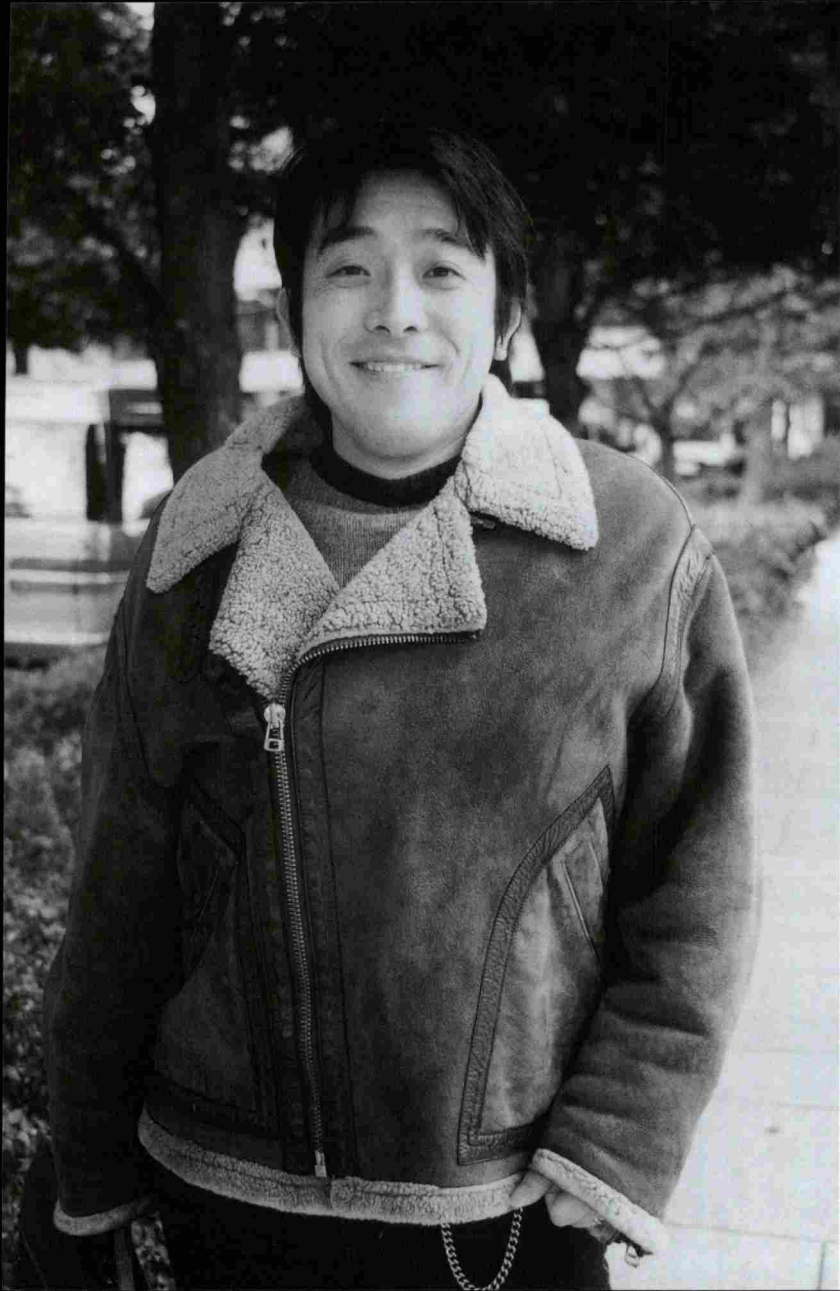
—取材の上で 血の通った小説を—

関西学院大学フランス文学科在学中に、関西レマン協会機関誌『ゲオルク』の編集長に抜てきされる。機関誌が創刊された1993年当時、パロック楽器(17・8世紀の楽器やそのレプリカ)による演奏は市民権を得たばかり。聴衆にとってはまだ「知らないこと」が多かった。そんな疑問を入門者でもわかりやすく語ったのが『ゲオルク』だった。機関誌の発刊は終わったが、演奏会に講談をとりいれるなど、中野さんの活動は形を変えながら続いている。

本誌1月号から連載「鏡の中のサムライ」をスタート。執筆するにあたり、とにかく取材をメインに置いている。のちに日本のパーマネント業界の草分けとなる美容師・有馬休六という人物に関しては、有馬の弟子にあたる人に話を聞き、また出身地に関しては、

鹿児島県川内市のホームページに問合わせるところ、それを見た川内市内の寺の住職との出会いがあった。有馬休六が美容師へと成長していくドラマは乞うご期待。加えて、ファッションの歴史、散髪屋が「くつろぎの場所」へと変化していく当時の様子もえがかれる。「例えば家に居間を取り入れたことで家族の封建制が消えていったように、ライフスタイルにどんな西洋文化を取り入れるかですいぶん変わってくる。音楽でも、美容でも、西洋文化を取り入れた先代たちは、国を愛して、日本という国のためにやっていたと思う。それらの取材を重ねて、その上で血を通わせたものを書くことができれば」と中野さん。

〈鳥羽〉



平成16年新年合同祝賀会



グリーンネットワーク

↑震災被災地に緑を取り戻そうと、建築家・安藤忠雄さんが呼びかける「ひょうごグリーンネットワーク」。1月6日、中国人犠牲者を追悼し記念植樹、10日には甲南大学でも。

平成16年合同祝賀会

↑1月5日神商主催の新年会。太田神商会頭代行の大音声の乾杯が明るく元気に。

平成甲申 2004 新年の集い



望月美佐
「愛と夢に溢れる日常」をテーマに、望月美佐さんが1月18日、生田神社会館で新年会を。宝塚90周年を祝い、風さやかさんと歌と踊りを。



高砂京子

↑書家・高砂京子さんのお弟子さんが集まり神戸ポートピアホテル「やわらぎ」で書き初め。

ヤスコ シャンソンの夕べ

←12月10日、北野サーカスでヤスコさんのシャンソンの夕べ。パリでも活躍中の歌声に、県外からもファンがつかめかけ、酔いしれた。

移情閣コーラス15周年

↑「移情閣コーラス15周年チャリティコンサート」が12月14日舞子ピラで。「輝くシニアーズ」グループの歌声に会場も満席の拍手。指揮者／張文乃



●コウベスナップ

1.17震災9周年



東遊園地



↑1月17日、阪神・淡路大震災から9年を迎え、各地で追悼行事。左から長田区御藏通・菅原通地区、東遊園地での追悼式と竹灯ろうの灯り。



岩島雅彦展



↑ギャラリー島田賞受賞を機に1月4～14日個展を。病気で右手が動かなくなったところから岩島の新しい世界が豊潤に。

KFS

↑神戸ファッション都市づくり30周年とともに歩んだKFSが新年会を。

七人展

阿部国生展

↓ヨシダヨシエに激賞された人形作家がアートに挑戦。これがまた評価が高い。サロンドあいらで1月7日から1ヵ月間。

インド古典舞踊

↓神、自然への感謝を全身で表現するインド古典舞踊バラタナティヤム。舞踊家・藤原真奈美さんとお弟子さんが「marga祭」で披露。12月13日インドクラブで。



↑武蔵美七人展が1月4～14日サンバルギャラリーリードウで。写真は、アポリジニ音楽の生演奏に合わせて4人が即興で描いた作品。

